

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

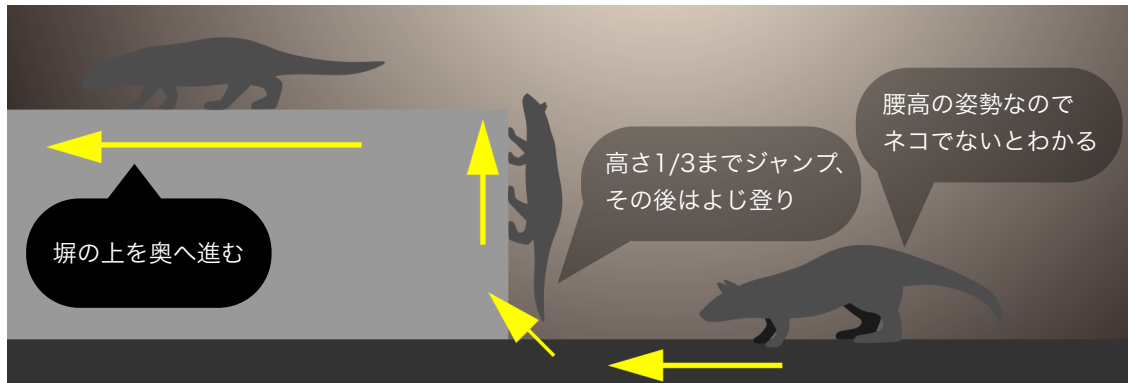
2014年8月号 通巻68号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2014

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

ついに見た—————！＼(^o^)/

隊長、初めてハクビシンを目撃する



目撃時の状況はこんな感じ。街灯が逆光で、シルエットだけしか確認できなかった。

東京タヌキ探検隊！の隊長である私にお願いすれば、タヌキやハクビシンを簡単に見ることができると思っている人は少なくないと思いますが、そんなことは不可能です。夜行性で警戒心も強い動物は発見することが非常に難しいのです。私でさえこれまで一度も野生のハクビシンを見たことがないほどなのです。ハクビシンを見たいとは思っていましたが、その機会はまったくありませんでした。

夜道に謎の動物現る

7月3日の夜、私は自宅近くを歩いていました。住宅地の中の狭い道路です。右手にのびたT字路の先を見ると、ネコのような動物が路上にいるのが見えました。街灯が逆光になってシルエットになっています。一見ネコなのですが、腰高の姿勢はネコではありません。細身の胴体、長めの尾…ということはハクビシン！？ 私がゆっくりと近づくと、その動物は高さ180cmほどのブロッ

ク塀を登っていきました。最初の高さ1/3程度はぴよんと飛びつき、そこからはすたすたと塀をよじ登っていきます。これもネコではありえない行動です(ネコは上まで一気にジャンプします)。動物は民家の間にある塀の上をそのまま奥へ進んで行きました。私もそれ以上の追跡はできません。ここまで時間にしてわずか10秒ほどのことでした。

ハクビシンの特徴である顔の様子は確認できませんでした。逆光であり、動物も振り返ったりはしなかったからです。それでも体型と行動の様子からハクビシンであることが断定できます。

これが宮本初のハクビシン目撃となりました。東京タヌキ探検隊！のデータベースでは3135番目の記録です。めでたしめでたし。

見過ごされている動物たち

今回の目撃で実感したことは、ハクビシンを知らない人が見たらあれはネコにしか見えないだろう、とい

うことでした。ハクビシンに出くわした人はけっこういるのかもしれませんが、ネコだと思って見過ごされていることが多いのだろうと予想されます。あるいは違和感を感じても動物の名前を思いつけなかったり、そもそも関心がなかったりで忘れ去られてしまうこともあるでしょう。

「ネットで目撃情報を募る」という東京タヌキ探検隊！のやり方は素晴らしいアイデアのように見えてしまっている場合の方が圧倒的に多いはずで、実は効率がいい方法ではないのです。かといってより効率的な方法があるわけでもありません。東京タヌキ探検隊！は根本的な問題を抱えているのです。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>